

## 子どもと共につくこと

園長 篠澤 恵理

今年の「こども会」の劇は、子どもたちが大好きな虫たちが登場するお話を考えて披露します。これまで読んだ絵本に出てくる内容も取り入れながら、想像力を膨らませることを楽しんできました。蜘蛛の巣に虫たちが捕まってしまう場面では、虫たちの気持ちになって様々な台詞を考えていました。また、蜘蛛の役になった時には、虫を捕まえた時の気持ちも思い浮かべて表現していたこともありました。自分と違うものになってみることで、別の見方や考え方に気付いていました。みんなで考えた言葉をつなぎながら劇をつくりあげていく過程で、子どもたちは自分たちの考えたことが形になっていく面白さを感じて、次々とアイディアが湧いてくるようです。劇に必要な大道具や衣装も、子どもたちの「こうしたい」という思いが感じられます。子どもの声に耳を傾けながら共につくことの積み重ねは、子どもたちの意欲を育むことにつながっていると実感する毎日です。今後もさらに台本や演出が更新されていくのが楽しみです。

さて、12月10日に予定している「親子でアート」では、群馬大学教育学部 美術教育講座 准教授 郡司明子先生を講師にお迎えし、森の中にいる気持ちになるようなアートの世界を、親子で一緒につくられるように計画しました。郡司先生にご助言いただき、不織布や毛糸などの素材をつなぎ合わせながら、幼稚園ホールの天井に「森」のような空間を表現する予定です。これまで身近な生き物に興味や関心を向けてきた子どもたちのために、「森をつくろうーもり組の みんなでつなぐ 豊かな森ー」をテーマとしました。郡司先生は、「みんなで過ごしてきた幼稚園が、この森を介して外の世界とつながっていくこと」や、「みんなが、幼稚園から巣立っていく外の世界と行き来できるようなイメージが湧く空間を目指すこと」も、このアートに込めたコンセプトであると考えてくださいました。当日使用する材料の準備をして並べてみると、これらの様々な種類の素材や色は、子どもたち一人一人の多様さを表しているかのように見えてきました。もり組の子どもたちが、これまでの園生活の中で、個性豊かな仲間と出会い、一人一人の思いを表しながら結びつき、時に絡まりながら、互いに影響を与え合って成長してきた日々も、この森に思いを重ねて表現できたらと願っています。

幼稚園では、今後も子どもたちが一つの目的に向かって共に考えを出し合い、力を合わせる経験を積み重ねていかれるように、子どもと共につくことを大切に支えてまいります。今年も様々なご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。いよいよ今年もあと一ヶ月です。皆様、よい年をお迎えください。

## 《今月のめあて》

- 5 歳 児 ・友達との遊びや活動の中で自分の力を発揮し、互いの考えやイメージを受け入れ  
もり組 合いながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わう。  
・友達と一緒に十分に体を動かして遊ぶ中で、友達とのつながりを感じる。

## 今月の歌

☆ おしょうがつ ☆



1 もういくつねると おしょうがつ  
おしょうがつには たこあげて  
こまをまわして あそびましょう  
はやくこいこい おしょうがつ

2 もういくつねると おしょうがつ  
おしょうがつには まりついて  
おいばねついて あそびましょう  
はやくこいこい おしょうがつ